

Vol.202 学生時代に流行っていた制服の着崩し(2)

学校制服の着崩しは、昭和のツッパリブームや平成のコギャルブームなど、その時代のファッションや世相を反映して変化しています。では、今までどのような着崩しが流行っていたのでしょうか？今回は、10～60代の男女1,200人を対象に学生時代の制服の着崩しの有無や理由、年代別に流行った制服の着崩しについて調査しました。



調査概要

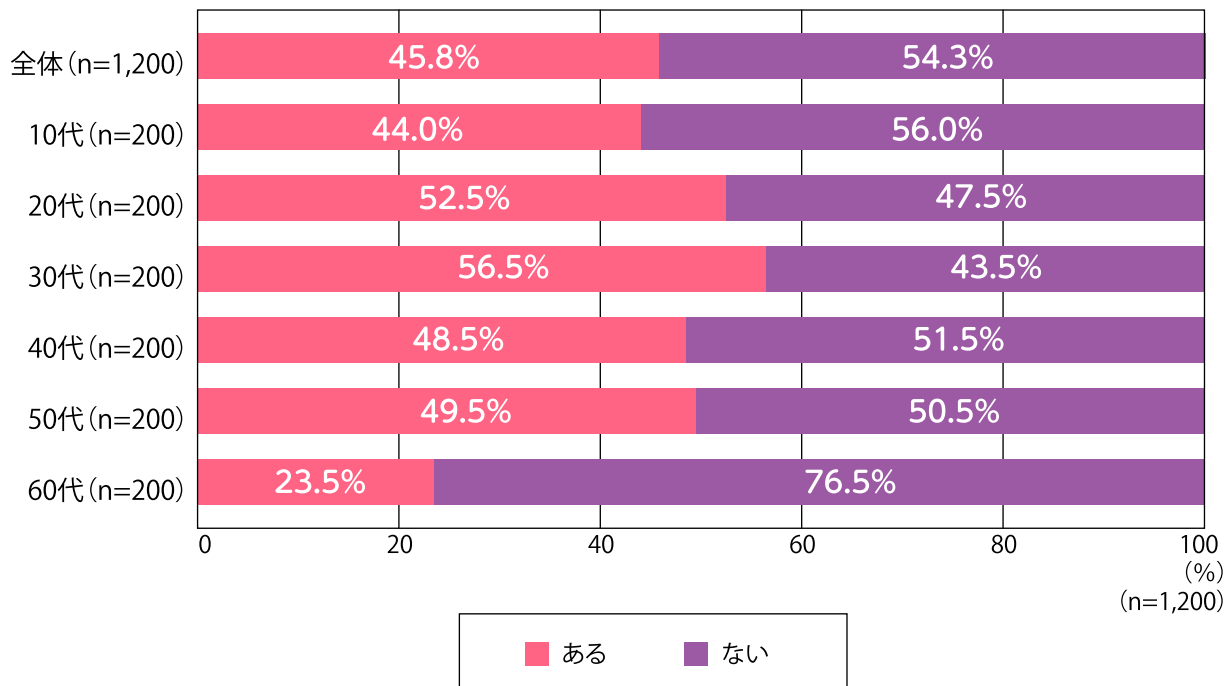
調査対象：全国の10～60代の男女 1,200人

調査方法：インターネットリサーチ

実施時期：2022年6月

Q1. 制服の着崩しの有無

10～60代の男女を対象に、学生時代の制服着崩しの有無を尋ねたところ、全体平均では制服を着崩して着ていた経験が「ある」(45.8%)と回答した人は半数以下であったのに対し、年代別にみると、30代は着崩し経験が「ある」(56.5%)という回答が全体平均に比べ10ポイント以上高いという結果になりました。

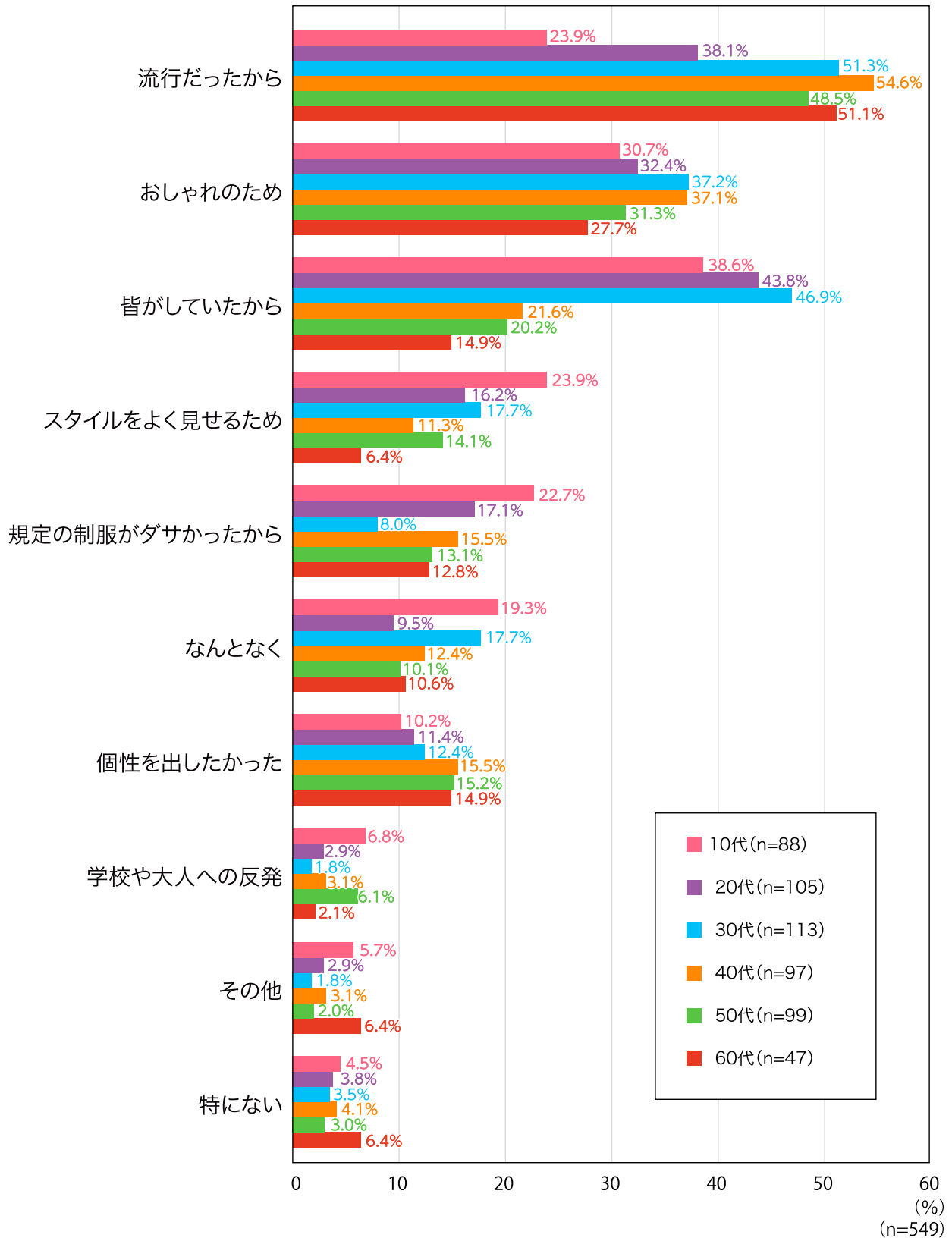


※グラフの数字は、小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

【図1】あなた自身、学生時代に制服を着崩して着ていた経験はありますか。(単数回答)

Q 2. 制服の着崩し理由

制服を着崩して着ていたと回答した549名の着崩しの理由は、「流行だったから」(40代=54.6%、30代=51.3%)が多く、次に、「おしゃれのため」、「皆がしていたから」、「スタイルをよく見せるため」でした。



【図2】あなたが、制服を着崩して着ていた理由は何ですか。(複数回答)

Q 3. 学生時代に流行った制服の着崩し

年代別の学生時代に流行った制服の着崩しは、10代～40代は「スカートを超ミニにする」が上位でしたが、50代・60代になると「くるぶし丈の長いスカート」が上位にランクインしていました。また、「スカートの下にジャージを穿く」という着崩しは10代～30代であり、「ルーズソックス」は、30代・40代の流行としてランクインし、「ズボンをずらして腰パンにする」は20代・30代で見られました。

【10代】

順位	着崩し内容	人数
1	スカートを超ミニにする	44
2	襟、胸元のボタンを外す	43
3	くるぶし丈の短いソックス	42
4	スカートの下にジャージを穿く	39
5	シャツの袖のボタンを外す	37

【20代】

順位	着崩し内容	人数
1	ズボンをずらして腰パンにする	63
2	襟、胸元のボタンを外す	59
3	スカートを超ミニにする	58
4	セーラー服の丈を短くする	44
5	スカートの下にジャージを穿く	44

【30代】

順位	着崩し内容	人数
1	ズボンをずらして腰パンにする	112
2	スカートを超ミニにする	88
3	ルーズソックス	84
4	スカートの下にジャージを穿く	72
5	襟、胸元のボタンを外す	60

【40代】

順位	着崩し内容	人数
1	ルーズソックス	85
2	ボンタン(幅の広いズボン)	80
3	短ラン(丈の短い学生服)	79
4	スカートを超ミニにする	68
5	セーラー服の丈を短くする	56

【50代】


順位	着崩し内容	人数
1	ボンタン(幅の広いズボン)	96
2	短ラン(丈の短い学生服)	84
3	くるぶし丈の長いスカート	72
4	裏地に柄が入った学ラン	67
5	長ラン(丈の長い学生服)	64

【60代】

順位	着崩し内容	人数
1	くるぶし丈の長いスカート	68
2	長ラン(丈の長い学生服)	65
3	ボンタン(幅の広いズボン)	57
4	セーラー服の丈を短くする	30
5	短ラン(丈の短い学生服)	29

(n=各200)

【図3】あなたの学生時代に流行った制服の着崩しは、何ですか。(複数回答)

 まとめ

日本で初めて学校制服が誕生したのは明治時代です。それから大正・昭和・平成・令和と時代は変わり、短ラン・長ラン・ボンタンが流行ったり、くるぶし丈の長いスカートが流行ったかと思えば、スカートのベルト部分を何重にも折り曲げてスカートを短くすることが流行ったり、スカートの下にジャージなどのズボンを書く「はにわスタイル」が登場するなどしています。

今回、全国の10～60代の男女1,200人を対象に、学生時代の制服の着崩し状況を尋ねたところ、全体平均では制服を着崩して着ていた経験が「ある」(45.8%)という回答であったのに対し、30代の着崩し経験が「ある」(56.5%)という回答は半数を超えて最も多く着崩しをしていた年代であるという結果になりました。制服を着崩して着る理由については、「流行だったから」、「おしゃれのため」、「皆がしていたから」、「スタイルをよく見せるため」という回答が多く、「学校や大人への反発」という回答はいずれの年代も1割に満たない状態で、着崩しはファッションや皆と同じようにしたいという気持ちが大きいようです。また、学生時代に流行った制服の着崩しの内容については、10代～40代は「スカートを超ミニにする」という回答が多いのに対し、50代・60代は「くるぶし丈の長いスカート」が多く、年代別の違いが顕著に表れています。「スカートの下にジャージを書く」という着崩しは10代～30代の上位にあり、「ルーズソックス」は、30代・40代の独自の流行としてランクインし、「ズボンをずらして腰パンにする」は20代・30代で多く、制服の着崩しといっても時代によって違いや傾向がみられました。

近年は、一昔前ほど過度な着崩しをする生徒が少なくなったと言われています。背景には、制服が多様化して着崩しをする必要性がなくなったり、生徒自身も「着崩しすぎるとかわいくない」という価値観に変化したりしているようです。

毎月最終
火曜日
更新

カンコーホームルーム ～学生を読み解くデータ集～

カンコーホームルームは、学生を取り巻く環境や子どもたちの意識・ライフスタイルについて、多角的に調査・分析し、その結果をお届けしています。

ホームページでは、今回ご紹介した調査データ以外にも様々な情報を掲載しております。

<http://kanko-gakuseifuku.co.jp>